

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2023年11月29日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	日本防蝕工業株式会社
所在地	〒144-8555 東京都大田区南蒲田 1-21-12
代表者役職・氏名	代表取締役社長 佐藤 元彦
担当者連絡先	電話：03-3737-8441 (担当：仲岡宏樹) メール：nakaoka@nitibo.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.nitibo.co.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は1951年に創業した総合防食エンジニアリング会社として創業し、全国の港湾・漁港において岸壁、栈橋、防波堤等の鋼構造物への腐食および腐食対策（電気防食・被覆）に対する調査、設計、施工、管理、製造、販売を行っている。</p> <p>また、サンゴ再生事業にも力を入れており、浮栈橋への腐食防止対策として採用されている「電気防食技術」によって陽極より発生する微弱な電流がサンゴの生育に寄与していることが判明し、サンゴの再生・生育を促進させる手法として、「稚サンゴが着生しやすい電着基盤」と「着生したサンゴの成長を促進させる微弱電流を利用したサンゴ生育装置」を開発し、10年以上に渡り、実海域において実証試験やモニタリング調査を実施しております。</p>
--

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
□環境 ✓社会 ✓経済	働き方改革と生産性向上で非管理職1名あたりの平均年間総労働時間を短縮する。	・平均年間総労働時間平均 【現状】2,010時間 【目標】1,950時間
✓環境 ✓社会 □経済	再生可能エネルギー事業 洋上風力発電・波力発電・潮力発電に関する調査、施工、メンテナンスにより脱酸素化の取り組みを推進する。	・着床式洋上風力ファーム1拠点以上 浮体式洋上風力ファーム1拠点以上の調査・施工・維持管理業務に携わる。
✓環境 ✓社会 □経済	サンゴに関する研究・開発を通して生物多様性、エコツーリズム、環境教育への貢献	・沖縄県石垣島での有性生殖によるサンゴ増殖実験の継続 ・長崎県高島をはじめとして全国各地にサンゴ生育装置を設置しエコツーリズムや環境教育への活用

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・性別、年齢、障害、国籍、出身などによる差別がない体制づくりを、経営陣が積極的に周知					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・規程及び相談窓口を設定					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・超過労働に伴う健康被害防止対策実施要領を定め、取り組んでいる ・45及び80時間超/月の残業が見込まれる場合に、所属長から総務部長へ申請させ、必要な指示・指導を行っている									8.5 8.8								
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・中央安全衛生委員会を設置し、定期的な諸活動を実施するため環境安全衛生室を組織				3					8								
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・ストレスチェックの実施(1回/年) ・メンタルチェック(都度→環安室へ報告を1回/年) ・産業医等による個別面談の実施				3													
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・短時間勤務や適切な職場への人員配置に取り組んでいる。					5.1 5.5				8.5		10.2 10.3						
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・外部研修の受講や資格取得の教育機会を確保し、全額会社で費用負担している				4	5.5				8	9							
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	・就業規則等に沿った適法性の確認の実施 ・目標管理制度による人事考課の実施					5.5				8.5		10.2 10.3						
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・年に1回健康診断を実施している(100%)				3					8								
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	・産業廃棄物処理要領に基づき、マニフェストを作成し、適正に処理している											11.6	12.4 12.5		14.1			
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・廃棄物の分別・管理による3Rを推進している								7.3					13				
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・LED電灯や低燃費車等の導入を進めている								7.2 7.3				12.4	13.3				

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・業務に使用する化学物質を把握し、SDSを入手・周知することで適切な使用に取り組んでいる			3.9			6.3				11.6	12.4						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・浮桟橋への腐食防止のために採用されている「電気防食」がサンゴの生育に寄与していることを発見し、サンゴの増殖について研究を進めている ・関連技術となるETVロゴマークを取得している ・関連技術となるNETISについて、登録している						6.6							15				
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	・水道使用量を管理し、動向を踏まえた対策を実施 ・上水道の電気防食、維持管理業務を通じて、安全・安心な水づくりの取組を実施						6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・EA21の認証取得に向けて準備中			3.9			6	7				12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・HPによる環境に関する取組内容、実績を開示											12.6						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2					13					
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる												12.2	13	14	15			
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・品質マネジメントシステム(ISO9001)を運用			3.9								12.4						
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・品質マネジメントシステム(ISO9001)を運用									9								
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・浮桟橋への腐食防止のために採用されている「電気防食」がサンゴの生育に寄与していることを発見し、サンゴの増殖について研究を進めている ・関連技術となるETVロゴマークを取得している ・関連技術となるNETISについて、登録している							6				12	13	14	15			
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・電気防食工法を採用することで長寿命インフラの維持管理に努めている	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4					9	11	12		14	15		17	
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・東京都水道局の水源地保全の取り組みに賛同し「みんなで作る水源の森 企業協賛金制度」に協賛している				4						11			14	15		17	
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	・外注・資材調達等、地元企業の活用								8	9	11	12	13					

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 東京都大田区南蒲田 1-21-12

名称： 日本防蝕工業株式会社

代表者： 代表取締役社長 佐藤 元彦

登録年月日： 2023 年 12 月 22 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
□環境 ✓社会 ✓経済	働き方改革と生産性向上で非管理職 1 名あたりの平均年間総労働時間を短縮する。	・平均年間総労働時間平均 【現状】 2,010 時間 【目標】 1,950 時間	平均年間総労働時間平均 令和 6 年「1,932 時間」
✓環境 ✓社会 □経済	再生可能エネルギー事業 洋上風力発電・波力発電・潮力発電に関する調査、施工、メンテナンスにより脱酸素化の取り組みを推進する。	・着床式洋上風力ファーム 1 拠点以上 浮体式洋上風力ファーム 1 拠点以上の調査・施工・維持管理業務に携わる。	令和 6 年実績 ・九州地区着床式洋上風力施工・維持管理調査実施 ・九州地区浮体式洋上風力施工・維持管理調査実施
✓環境 ✓社会 □経済	サンゴに関する研究・開発を通して生物多様性、エコツーリズム、環境教育への貢献	・沖縄県石垣島での有性生殖によるサンゴ増殖実験の継続 ・長崎県高島をはじめとして全国各地にサンゴ生育装置を設置しエコツーリズムや環境教育への活用	・沖縄県石垣島での有性生殖によるサンゴ増殖実験の継続実施（令和 5 年度：3 回実施） ・長崎県高島に続き、和歌山県串本町にサンゴ生育装置を新たに設置（令和 6 年 6 月） 高島にて環境講習実施（9 月）